

# 2003年5月の日本の天候

## 高温 (全国)

### 5月の天気概況

寒暖の変動は比較的小さく全国的に気温は平年を上回った。北・東日本の日本海側は時々寒気の影響を受けたが高気圧に覆われやすく晴れる日が多かった。一方、東日本の太平洋側や西日本は中旬以降は低気圧や前線および東寄りの気流の影響で曇りや雨の日が多かった。また、月末には台風第4号が四国に上陸し、その後温帯低気圧に変わって日本海沿岸を北上したため、全国各地に大雨をもたらした。

**上旬：**前半は移動性高気圧に覆われることが多く全国的に晴れる日が多かった。しかし、7日～8日にはサハリン付近の低気圧から延びる寒冷前線が南下するとともに、大陸付近で発生した低気圧が東進して来たため、全国的に曇りや雨となった。その後、前線は日本の南海上に下がり全国的に天気は回復したが気温は平年を下回った。**旬平均気温**は、全国的に平年並か高かった。**旬降水量**は、全国的に平年並か少なかった。**旬日照時間**は、南西諸島で平年並であった他は全国的に少なかった。

**中旬：**前線が南岸に停滞するようになり、東・西日本の太平洋側や南西諸島では前線や前線上を通過する低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。北日本では天気は周期的に変化した。**旬平均気温**は、北日本太平洋側で低かった他は平年並か高かった。**旬降水量**は、西日本の太平洋側で多かった他は平年並か少なかった。**旬日照時間**は、北日本の日本海側で平年並となった他は少なかった。

**下旬：**前半は日本の東海上で高気圧が強い状態が続いたため、北・東日本の太平洋側では東寄りの風が吹き天気がぐずついた。後半は全国的に高気圧の圏内に入り晴れるところが多くなったが、旬末に台風第4号が四国宇和島付近に上陸しその後温帯低気圧に変わって日本海沿岸を北上したため各地に大雨をもたらした。**旬平均気温**は、北・東日本の太平洋側と南西諸島で平年並となった他は高かった。**旬降水量**は、北日本と東日本の日本海側および南西諸島で少なかった他は多かった。**旬日照時間**は、北・東日本の日本海側は多かったが、東日本の太平洋側と西日本は少なかった。

### 5月の気候統計

**平均気温：**北日本の太平洋側で平年を下回った他は全国で平年を上回った。秋田(秋田県)では、月平均気温が16.2℃と平年を2.0℃上回り、1998年に記録した5月の月平均気温の最高値とタイ記録となった。

**降水量：**関東甲信・東海の一部、中国、四国、九州の一部で平年を上回った。これらの地方では平年の150%以上となったところがあった。巖原(長崎県)、延岡(宮崎県)、宿毛(高知県)の4地点で月降水量の最大値を更新した。延岡では月降水量が825.5mmとなって、平年の350%の降水量があった。北海道、東北、

北陸、近畿、南西諸島では平年を下回った。特に北海道、東北で平年の50%以下のところが多くなり、苫小牧(北海道)、新庄、酒田(ともに山形県)、石巻(宮城県)、白河(福島県)の5地点で月降水量の最小値を更新した。

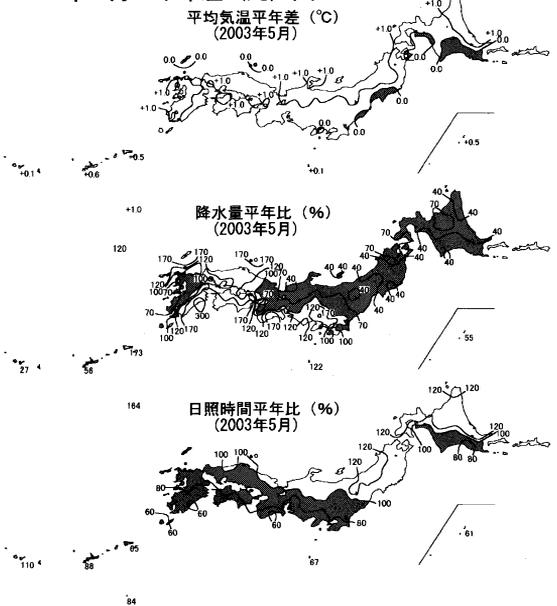
**日照時間：**北海道の太平洋側を除く北日本と東日本の日本海側の一部で平年を上回った他は平年を下回った。新庄(山形県)では月間日照時間が229.9時間と平年の128%となって5月の日照時間の最大値を更新した。一方、東日本、西日本の太平洋側の地方では平年を下回り、平年の80%以下となったところがあった。屋久島(鹿児島県)、千葉(千葉県)では、5月の日照時間の最小値を更新した。特に屋久島では平年の48%しか観測されなかった。

(気象庁観測部統計室)

### 5月の記録 (1位更新のみ)

- ・月平均気温高い方から (℃)
  - 秋田 16.2
- ・月降水量多い方から (mm)
  - 巖原 437.5 延岡 825.5 宮崎 580.0
  - 宿毛 399.0
- ・月降水量少ない方から (mm)
  - 苫小牧 31.5 新庄 51.0 酒田 38.5
  - 石巻 26.5 白河 56.5
- ・月間日照時間多い方から (時間)
  - 新庄 229.9
- ・月間日照時間少ない方から (時間)
  - 千葉 131.8 屋久島 72.7

### 2003年5月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す